

がん化学療法レジメン登録書

1 枚目

登録日：2021.6.5 登録番号：21-186

がん種/レジメン名				実施区分	適応疾患分類	抗癌剤適応分類		
治癒切除不能な進行・再発の胃癌 フルオロウラシル+レボホリナート療法				点滴静注	日常診療（治療）	進行・再発・転移癌		
1 クールの投与期間				56 日/クール				備考（最大投与回数等）経口摂取が困難な症例を対象とする
Day	投与順	薬品名（成分名）		投与量	単位	溶解液・液量	投与時間	投与ルート
1,8,15,22,	1	デキサート		6.6	mg	生理食塩液 50mL	15min	Div
29,36	2	レボホリナート		250	mg/m ²	生理食塩液 250mL	120min	Div
	3	フルオロウラシル		600	mg/m ²	生理食塩液 50mL	全開	Div.
	4					生理食塩液 50mL	5min	Div.

臨床症状の観察を十分に行った上で、使用が適切と判断される患者についてのみ投与すること。
また、投与開始基準や投与基準を満たさない場合はリスクとベネフィットを考慮した上で投与の可否を判断すること。

【投与開始基準】 Gastric Cancer(2020)23:677-688 より

項目	基準値及び症状
PS	0~2
好中球	≥1500 /μL
ヘモグロビン	≥8.0 g/dL
血小板	≥100000 /μL
AST 又は ALT	≤100 IU/L
T-Bil	≤1.5 mg/dL
血清クレアチニン	≤2.0 mg/dL

禁忌

本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴

下痢

重篤な感染症の合併

多量の腹水、胸水

重篤な心疾患又はその既往歴

慎重投与

感染症の合併

心疾患又はその既往歴

消化管潰瘍又は出血

水痘患者

高度に進行した肝転移

高齢者

他の化学療法、放射線療法を受けている患者

前化学療法を受けている患者

【投与基準】 Gastric Cancer(2020)23:677-688 より

項目	基準値及び症状
好中球	≥1500 /μL
血小板	≥75000 /μL
AST 又は ALT	≤100 IU/L
T-Bil	≤2.0 mg/dL
血清クレアチニン	≤2.0 mg/dL
非血液毒性	≤Grade 1

【特に注意すべき副作用と対策】

白血球減少、好中球減少・・・症状に応じ、内服もしくは点滴静注にて抗生剤の投与、G-CFS 製剤の使用を考慮（FN 診療ガイドライン、G-CFS 製剤使用についてのガイドラインに準じ対応）
ヘモグロビン減少・・・症状に応じ、輸血を考慮（血液製剤の使用指針に準じ対応）
血小板減少・・・症状に応じ、輸血を考慮（血小板輸血に関してのガイドラインに準じ対応）
消化器障害・・・悪心嘔吐には 5HT₃ 拮抗薬の処方追加検討。下痢には高用量ロペラミド療法検討

※当院作成の【外来化学療法施行患者における緊急時対応マニュアル】を参照すること

【減量基準】 Gastric Cancer(2020)23:677-688 より

項目	基準値及び症状
好中球	Grade 4
血小板	≥Grade 3
T-Bil	>3.0 mg/dL
血清クレアチニン	>2.0 mg/dL
発熱性好中球減少症	Grade 3
感染症	Grade 3
下痢、口内炎	Grade 2 又 3
肺炎	Grade2